

2021年7月

株 主 各 位

株式会社アーレスティ

### 第100回定時株主総会の質疑応答要旨について

令和3年6月16日(水)開催の第100回定時株主総会および事前質問にて株主様からご質問を頂きましたので、その要旨をお知らせ致します。

(質問1)自動車業界における半導体不足の影響について。

(回答1)

半導体不足の影響は自動車各社により見方も分かれております。各社の下期以降の見方としては、元の計画に戻るという会社や、上期減少分を下期に挽回生産するという会社など見方が分かれています。当社の計画では、上期半導体影響での売上減を織り込んでおり、下期に関しては元の計画に戻る程度と考えています。

(質問2)会社としての財務政策について。

(回答2)

当社の今期の業績については、上期半導体影響もあり厳しい状況ではありますが、収益体質の改善と受注量の増加により下期の回復を見込んでおります。こうした中で昨年度コロナ禍で増加した借入金水準を引き下げる事が課題と考えています。一方で PBR の低迷は、市場の評価を反映したものと受け止めています。生産性の改善やリーンな生産体制を進めながら収益回復に努めるとともに、企業価値向上に努めることで株主の皆様のご期待にも応えてまいります。

(質問3)適正な借入水準について。

(回答3)

当社は3年程度先の受注を見ながらビジネスを行っています。借入金水準に拘りすぎると大型案件を逃すことになりかねないものと考えております。また、電動化対応が進むなかで、環境変化の激しい状況においてビジネスチャンスをとらえるとなると、機動的な対応も必要となります。このような観点からも、有利子負債の適切な水準はいくらである、ということは一概に言えないものと考えています。

(質問4)自社株買いなどの実施について。

(回答4)

中長期的な業績見通し、投資計画、財務状況を総合的に勘案しつつ、機動的な自己株式の取得も含めた配当還元については今後も選択肢として検討してまいります。

以上